

# 探訪 牧野博士の歩いた道 横倉山 (高知県 高岡郡 越知町)

「常に此山(このやま)を植物園の如くにして研究」 吉永虎馬

牧野博士の高知の同志、高知県内で長く教鞭を務めた吉永虎馬先生(1871~1946)が「土佐横倉山の植物」と題した文章を寄稿した「史蹟名勝天然記念物」第五集第八号(発行・史蹟名勝天然記念物保存協会昭和5年8月1日発行)を最近入手できました。



吉永虎馬先生

そのなかで吉永先生は横倉山と牧野博士とのつながりを次のように表していました。  
「此山の植物のよく明にせられたるの理由は、彼の牧野富太郎博士が私と同じく此地を東南に距る約一里半の一小都會佐川町の出身であつて、往年郷里に在せられたる頃には常に此山を植物園の如くにして研究せられたる結果、一草一木も殆ど洩すことなく取調べられたに因るので、同氏が新種として公にせられたるもの、中、此地のものを記述されたものが相當に多いのである」

年12月31日発行)によると、横倉山をタイプとする植物(基準植物)は28種あり、その内、牧野博士が命名に関わったものはジョウロウホトトギス、コオログラン、ヨコグラノキ、コミヤマスマシ、ヨコグラツクバナ等25種もあります。コオログランについて、吉永先生は同文で「明治二十二年九月牧野博士に随ふて此山に登りたる際、御陵墓傳説地附近に於て創めて発見し同博士によりて露國のマキシモウキツチ氏の鑑定を請はれたるに、氏は其珍奇なるに驚嘆して一新屬を創定したるものである」と書いています。今年3月下旬、牧野公園の草花ガイドチームの一員として、横倉山トレッキングツアーのガイド研修を受けていた時、「ここで昼食をとっていると、吉永虎馬がコウログランを見つけたんです」と安徳天皇陵墓参考地の石段で、ガイドの所谷さんに教えていただいた時の感激がよみがえりました。



安徳天皇陵墓参考地

所谷さんからは、今も現存しているヨコグラノキの基準木にサルノコシカケが付着している状況、盗掘や踏圧によつて貴重な植物が失われている残念な話もうかがうことができました。朝ドラ「らんまん」のロケ地も教えていただきました。

ました。牧野博士は自叙伝の「幼年期」のなかで、越知村から雇った「乳母の背に負ぶさつて乳母の家に行つた」とが記された。その時乳母の家の薬葺家根が見えた時のことをおぼろげに記憶している。これが私の記憶している第一のものだ。ある」と記されています。私はその薬葺家根の家は横倉山の麓にあつたのではないかと勝手に想像して

た。牧野博士は「植物園の如くにして研究」し、「一草一木も殆ど洩すことなく取調べられた」植物の宝庫横倉山、牧野博士が師と仰いだ横倉山がいつまでもその豊かさを失わず、私たちに新たな発見をもたらしてくることを願つてやみません。(市川浩司)



タイプ植物のヨコグラノキを語る所谷さん(5月3日撮影)



越知町観光協会ではガイドによる横倉山トレッキングツアーを行なっています。牧野博士が歩いた横倉山の歴史と力強く美しい自然をあなたも体験してみませんか?  
■お問合せ先 0889・26・1004  
■営業時間 8時30分~17時

# 牧野人

vol.8 春の思い出いろいろ特集! \*2024年7月発行 \*企画・制作・発行・デザイン/ 朝ドラ「らんまん」顕彰会 〒789-1201 高知県高岡郡佐川町奥の土居 市川方 kawazumakeruna@bell.ocn.ne.jp



花々に囲まれた素敵なお花を、ありがとうございます。(松田雅子)

野菜を作っている友人に誘われて、春の一日、高知県立牧野植物園に行ってきました。母校の先輩で水彩画家の合田紀代さんの生徒作品展「テーマがヤサイ」を鑑賞した後、こんこん山広場で「まきの花図鑑」博士と草木のドラマをめぐる「を見に行きました」。「植物とともに生きた牧野博士の激動の人生を、春の草花で広場一面に演出」するという企画で、斬新なアイデアと素晴らしい植物の世界に触れることができました。  
(以下、園内解説パネルより)  
入り口からのエリアでは、植物の色彩の変化を感じられる花畑が皆さまをお迎え。幼いころから独学で植物研究に励んだ博士が、妻の壽衛と出会いともに歩んだ人生の軌跡を彩ります。さらに歩みを進めた先の芝生広場は、博士の充実した晩年が舞台。植物と家族に囲まれて幸せに過ごした東大泉の自宅の庭、そして生涯にわたる情熱を注いだ自身の集大成「牧野日本植物図鑑」を、それぞれ植栽で表現。  
花々に囲まれた素敵なお花を、ありがとうございます。(松田雅子)

## 高知県立牧野植物園 こんこん山広場『まきの花図鑑』に行ってきました。

2024年3月23日~5月19日まで開催されていた、博士と草木のドラマをめぐる春のフラワージョー。植物とともに生きた牧野博士の激動の人生が、春の草花で広場一面に演出されていました。頂上付近の芝生広場では、『牧野日本植物図鑑』に掲載されているオトメザクラやノウゼンハレンなどで彩った「まきの花図鑑」の展示に感動! 春牧野を満喫させていただきました。



夏牧野も楽しい企画満載です! 植物と虫の不思議な関係 食虫植物展 2024年 7月20日(土) 9月1日(日) 高知県立牧野植物園 南園温室

虫を捕まえる自らの栄養源とする食虫植物。その不思議な生態を楽しくご紹介します。栄養の少ない過酷な環境下において、色々な栄養を仕掛けて虫を捕まえるハエトリグサや、虫を穴に落とす捕まえるサラセニアやネンテスの仲間などさまざまな食虫植物を一堂に集め、その生態と多様性を紹介。捕虫様式を4つのタイプに分けて、どのように虫を捕まえるのか、またどんな種類があるのかをお子さまにも分かりやすく実物展示とパネルを用いて詳しく解説し、夏休みの自由研究の参考にさせていただきます。

今年、高知県立牧野植物園の食虫植物であるムジナモの発芽から成長の過程を解説パネルで紹介いたします。  
(※写真提供・高知県立牧野植物園 文・同園ホームページより引用)

豊かな自然、明るい未来を、 サプライチェーン・ロジスティクスで

郵船ロジスティクスグループは、持続可能な未来に向けて、地域の皆さまとともに歩みます  
https://www.yusen-logistics.com/jp\_ja/



# 拝見 牧野博士からの手紙

## 横須賀市自然・人文博物館

朝ドラ「らんまん」が放送された2023年度は全国各地で牧野富太郎博士と交流のあった方々を再発見する企画展が開催されました。前号では高知市立自由民権記念館で開催された「田村利親と土佐の柑橘」未完の大著「日本柑橘全誌」展を紹介しましたが、神奈川県横須賀市自然・人文博物館では企画展「牧野富太郎がみつめた植物―植物標本が語るもの―」が昨前半開催されていました。(※写真左)



以下同論文を引用させていただきます。牧野博士からの手紙を紹介しします。

私が同館を訪れたのは今年4月でしたが、同企画展で初めて展示された大谷茂氏(1900-1981)へ牧野博士が昭和9年(1934)から昭和23年(1948)にかけて送った11通の手紙について、翻刻と解説が付された論文「植物学者牧野富太郎博士からの手紙―当館初代植物学担当・大谷茂学芸

員関係資料の紹介を中心に」山本薫 藤井明広(『横須賀市博物館研究報告(人文科学)』第68号(2024年3月)所収)を入手することができました。(1969)には横須賀市博物館の学芸員になられています。「牧野富太郎植物採集行動録の昭和17年2月1日には「雪」横濱行。午前10時横濱桜木駅下車、大谷茂氏迎へ呉ル。(空欄)学校二至り横濱植物会々員と會し、腊葉鑑定講演をなす。了て市中の或る食堂にて夕餐をとり桜木町停留所ヨリ上車(空欄)氏大泉の宅まで雪二拘わらず(ず)送り来らる」と記されていますので、戦時中も横濱植物会の活動が行われ、大谷氏はその世話役をされていたことがわかりますね。さて、

### 牧野博士からの手紙その1

昭和9年12月18日付には「先夜は失礼しました。南京街での御馳走は誠に申しあげてありがとう御座いました」とあります。牧野行動録同年12月16日に「横濱の會。：関東学院の會場二行き講演と腊葉鑑定を行ひ、日晚れ(日ぐれ)小南京街の金陵支那料理店にて馳走二なり順路帰宅す」とありますので、この手紙は帰宅してすぐ書かれたものですね。横濱植物会終了後の懇親会で牧野博士はどんな話の花を咲かせていたんでしょうね。  
**牧野博士からの手紙その2**

### 牧野博士からの手紙その3

昭和23年9月14日付の大谷氏妻逝去を見舞う葉書には「私も大病院で愛妻を失ひし経験を以てゐますが其当分の間は見るもの聞くもの皆哀傷のたねならざるものはない有様です」と、昭和3年2月に妻・寿衛子を亡くした時の思いが伝わっていました。牧野博士の植物学への志を示した「猪鞭一撻」に、○博ク交友同志に結ブ可シがあります。同志大谷茂氏への手紙から牧野博士や横濱植物会、植物についての知識が少しふくらみました。今回、横須賀市自然・人文博物館には突然お邪魔したにも関わらず、対応していただいた学芸員の山本薫様、どうも有難うございました。(市川浩司)

# 『定年のデザイン』展

## トークイベントに参加させていただきました。

写真は、越前町のブックカフェ「十月」で、今年1月21日に開催されたトークイベントの様子です。当たり前の日常が愛おしくなるお話、もつとつとみなさんと一緒にいたいと思わせてくれる居心地のいい空間でした。

笑いあり、涙あり。共感からまた自分自身の思い出が広がっていく素敵な時間でした。丁度本紙2面の市川浩司さんの記事にある「牧野博士からの手紙その3」が、「定年のデザイン」97頁に書かれてあった文章とピタッと合っていたので、見開きでコラボさせていただきました。「メモ魔の牧野さんなのに、この年の手帳は、寿衛さんが亡くなる前後からほぼ半年間空白のページが続いている」。そこから続く里見さんの文章には「なるほど、そうだったのか!」と深く感動しました。(まだお読みになっていらっしやらない方は是非!)



# さかわ・酒蔵ロード劇場2023でも 牧野博士と寿衛さんの姿が。

『定年のデザイン』展の会場に、第16回さかわ・酒蔵ロード劇場2023で拝見した作品「富太郎と寿衛」の原画を見つめました。「酒蔵ロード劇場」は、「酒蔵の道」などの壁面に幻想的な絵を投影するというイベントで、里見さんも2018年から参加されています。昨年は11月に開催されたのですが、里見さんはなんと、司牡丹酒造耐蔵の壁を牧野博士の書斎の本棚にしようという斬新な絵を映し出されました(キャプションより)本と植物、妻の寿衛さんという、好きなものだらけに囲まれてごげんの博士。東京都練馬区にある牧野記念庭園。里見さんはそこに一枚の原画は、あの書斎を初めて目にした時の感動まで思い出させてくれる印象深い作品でした。(松田雅子)



第16回さかわ・酒蔵ロード劇場2023の 里見和彦作品「富太郎と寿衛」

### さかわかき氷街道 2024 ガイド

# さかわかき氷街道 2024

さかわのかき氷 28種類掲載!!

さかわの夏を食べて巡って楽しむ!!

### 「さかわかき氷街道2024」パンフレットが出来ました!

ぜひ今年の夏もお手元に! 詳しくはさかわ観光協会HP「さかわのしおり」よりご覧いただけます

2024年 開催期間 7月1日月 ~ 9月30日月

参加店舗: こじやんとはら来家さかわ(集落活動センター加茂の里)・野っぽら工房 おかしの家 Repos・coco crepe・霧生園(きりゅうえん)・紡ぎ工房 kichi わらび餅うさぎ堂・gochisou Lab.KOCHI・西村商店・田浜口家住宅(=RHEMA さかわ観光協会)

お問合せ: 一般社団法人 さかわ観光協会 TEL 0889-20-9500 〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲1474番地 開館日/火~日曜日 9:00~17:00(月曜休館/※祝日の場合は翌日) ※7月1日(月)と9月30日(月)は営業しています。

# 高知県出版文化賞受賞!

## 「定年のデザイン」

文と絵 里見和彦

高知新聞連載の人気エッセー、特選の書籍化! 連載70篇に新たな30篇書き下ろし。

元牧野植物園デザイナーがつづる 牧野植物園 マップ etc.付き

ボタニカルな日常

運動という名の散歩 / せいこうさんのジョウロ / 牧野博士の「心・技・体・笑」 / 和田誠さんのブルー / 牧野植物園の「植物交響曲」 / あたごのハロッズ



今年2月に発表された「第68回高知県出版文化賞」の中の1冊に、里見和彦著「定年のデザイン」が選ばれました。リーブル出版坂本圭一郎氏(写真左)と共に授賞式に参加された里見さん。高知新聞連載中から愛読者も多く、何より文章や挿絵に頻りに登場する「愛宕界限」に愛着を持たれる方が増えたとか。(筆者もそのひとりです)